

令和7年度有田市立保田小学校 スクールプラン

有田市学校教育方針

認め合い、学び合い、郷土を愛する子供の育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情を育む

保護者・地域の願い

- 知・徳・体のバランスがとれた児童
- 心身共に健康で、相手の立場を考えて行動できる児童
- 郷土に対する誇りや愛情をもつ児童

【学 校 教 育 目 標】

生涯学習社会を生き抜く
たくましい児童の育成

【めざす学校像】

- ・学び合う学校
- ・安心・安全な学校
- ・地域とともにある学校

【めざす児童像】

- ・すすんで学ぶ子（知）
- ・思いやりのある子（徳）
- ・きたえる子（体）

前年度の学校評価

- 前年度より一層子ども達が落ち着いて学習に取り組んでいる。学力面・体力面でも向上の傾向がみられる
- 地域の方や来訪者に対して、自然とあいさつできる子が増えてきている。

児童（生徒）の実態

- 気さくで活気があり、活発に体を動かして遊ぶ子が多い。
- 基本的な生活習慣やソーシャルスキルが十分に身につけていない児童がいる。
- 「思考力・判断力・表現力」に課題がみられる。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎思考力・判断力・表現力の向上
- ◎自立・自律学習力の定着
- ◎協調・協働の能力の向上

豊かな心の育成

- ◎人とかかわり・社会とのつながり・自分自身の生き方を適正に振り返り、向上をめざす力の育成

健やかな体の育成

- ◎生涯体育につながる楽しさや達成感を味わえる授業づくり
- ◎からだの状態に気づき、健康・安全に行動できる力の育成

地域とともにある学校

- ◎地域・保護者・関連機関と連携し、学校教育をよりよいものにする

具体的な取組

- 教育計画にもとづいた教育活動の実施
- 学習評価・研究成果を取り入れた自主的・主体的な授業改善
- 図書活用・家庭学習・特別活動・日常生活等との関連付けを意識した学習指導

- 多面的・多角的な見方を育む道徳・人権学習
- 「振り返り→改善策→実践」のサイクルで自己指導能力を育成する生活指導
- 「対話的・協働的な学び」の日常的な導入

- 自主的な体育授業研修
- 年間計画にもとづいた「わか」「できる」「かかわる」体育授業の日常化
- 「対話的・協働的な学び」やICT活用の日常的な導入
- 養護教諭・関連機関と連携した健康教育・安全教育の実施

- 地域協働教育計画にもとづいた学習活動の実施
- 地域学校協働活動についての研修の実施
- 学校・学級だより等を通じて、保護者・外部への情報公開

指標

- ・単元末テスト等「思考・判断・表現」問題正答率50%未満の児童2割未満。
- ・児童、教師、保護者アンケートで肯定的な回答が85%以上
- ・図書活用の授業年間20時間以上

- ・いじめの見逃し件数0（ゼロ）
- ・Q-U調査の学級不満足群児童の割合20%未満
- ・児童、保護者アンケートで肯定的な回答が85%以上

- ・授業改善、実践について教師アンケートの肯定的な回答が90%以上
- ・児童・保護者アンケートで肯定的な回答が90%以上
- ・スポーツテストD・E判定が20%以下

- ・各学年、年間2回以上の連携活動
- ・児童・保護者アンケートで肯定的な回答が90%以上
- ・学校通信年間12回以上、校長室便り年間20回以上の発行

◎：特に重点的に取り組むこと